



皆様の健康維持と増進、病気の早期発見と治療に役立てて頂けるよう、「みんなの健康塾ちゃんねる」を開設しました！ポケット版では、ポケット版でしか読めない健康情報や豆知識などをご紹介します！

川崎幸病院

みんなの健康塾ちゃんねる



今年は桜が早く咲きそうですね

主催：一般社団法人 みんなの健康

発行：2024年3月1日

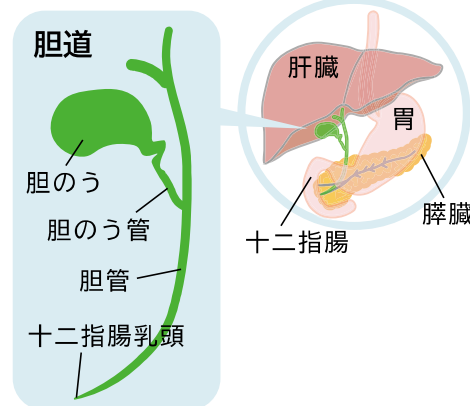
消化器官の臓器 **肝 胆 膵** の胆 っ てなに？ 胆道の病気について

「胆道（たんだう）」とは、肝臓から分泌された「胆汁（たんじゅう）」の通り道で、「胆管」、「胆のう」、「十二指腸乳頭」という3つの部分に分けられます。胆汁は、胆道を通り十二指腸に運ばれ、食べ物の中の主に脂肪成分の消化と吸収に重要な役割を果たします。

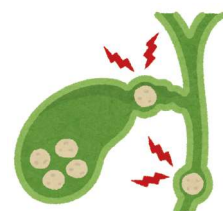
「胆管」は、肝臓の中に張り巡らされた細い管（肝内胆管）が合流しながら次第に太くなって肝臓の出口で一本にまとまります。そこに「胆のう」という胆汁を溜めておける保管庫につながる「胆のう管」が合流し、膵臓の中を通過して十二指腸につながります。このつなぎ目が「十二指腸乳頭」です。

今回は「胆道」の病気である、「胆石症」「胆のう炎」「胆道がん」についてご紹介します。

【監修：川崎幸病院 肝胆膵外科医師 / 部長 原 義明】



胆石症 胆道に結石ができ、痛みなど様々な症状を引き起こす病気の総称です。結石は、胆汁に含まれる成分が結晶化し固まったものです。結石ができる部位によって名前が変わり、「胆のう結石」、「胆管結石」、「肝内結石」と言います。その内、胆のう結石が約80%、胆管結石が約20%を占め、肝内結石は約2%と僅かです。



原因

明らかな原因はいまだ分かっていませんが、以下のことが関係していると考えられています。

- コレステロールの摂り過ぎ
- 胆のうの収縮機能の低下
- 感染や遺伝的要素

また、以下の方は胆石症になるリスクが高いと言われています。

- 40歳以上の方
- 女性の方
- 肥満の方
- たくさんお産をされた方

POINT

予防としては、コレステロールや脂肪の多い物、アルコールなどの摂り過ぎには注意し、生活習慣病に気を付けた生活を送ることが大切です。

症状

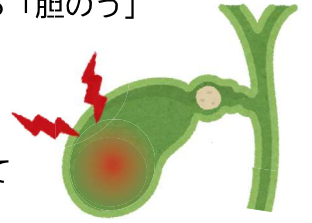
- 右わき腹・みぞおち・背中痛み
 - 嘔気・嘔吐 など
- ※胆のう内に結石があっても、無症状の場合もあります。

治療

主に、結石を溶かす薬を服用する治療、内視鏡を使って結石を摘出する治療、腹腔鏡を使って胆のうを摘出する治療法があります。結石ができた部位や、状態に応じて適切な治療方法を判断します。

胆のう炎

肝臓で作られた、消化吸収を助ける消化液の「胆汁」が溜まる「胆のう」に炎症が生じた病態のことです。



原因

急性胆のう炎の原因の約9割は「胆のう結石」と言われています。胆のう結石が胆のうの出口である「胆のう管」に詰まることで胆汁がせき止められてしまい、さらに胆汁に細菌が感染して発症します。



POINT 胆石の発生を防ぐことが、胆のう炎の予防にも大きく関係します。

症状

● 右わき腹・みぞおち・背中痛み ● 発熱 ● 黄疸 ● 嘔気・嘔吐 など

治療

一般的には胆のうを切除する「胆のう摘出術」を行いますが、ご年齢や全身状態により、ドレナージ術という非手術治療が選択される場合もあります。溜まった胆汁などを体の外に排泄させるために細い管（ドレナージチューブ）を挿入し治療する方法です。胆のうを摘出しても胆汁は直接腸に流れるため、消化吸収には問題ありません。脂肪分がうまく腸に吸収されず下痢などを起こす方もいますが、徐々に改善していく場合がほとんどです。

胆道がん

胆道がんは胆道にできるがんの総称で、発生した部位によって主に、「胆のうがん」「胆管がん」「十二指腸乳頭部がん」に分けられます。

症状

- 肝臓の中の胆管にできるがん（肝内胆管がん）、胆のうがん
早期には症状が出ないことも多く、進行すると黄疸がみられることがあります。また胆のうがんでは、右わき腹やみぞおちの痛みが出ることもあります。
- 肝臓の外の胆管にできるがん（肝外胆管がん）、十二指腸乳頭部がん
黄疸がよくみられ、皮膚や白目が黄色くなったり、尿の色が茶色っぽく濃くなったりするほか、皮膚にかゆみが出ることもあります。一方で、便の色が白っぽくなることもあります。黄疸のほかに、右わき腹やみぞおちの痛み、発熱、全身のだるさ、食欲不振、体重減少などの症状が出ることもあります。

治療

胆道がんの手術は現在も開腹手術になることが多いですが、早期であれば腹腔鏡手術が選択される場合もあります。そのほか患者さんの状態に応じて、抗がん剤治療・放射線治療・免疫療法を組み合わせ併用します。



POINT

胆道がんでは、がんの発生した部位によって、出やすい症状や症状の出るタイミングが異なります。気になる症状がある方は、消化器内科を受診するようにしましょう。



原医師が動画でもくわしく解説中！ぜひご覧ください！

胆石症



胆のう炎



『胆道がん』は
3月中旬公開予定！



本紙を毎月ご希望の方には郵便でお届けします

本紙のお申込み、その他お問い合わせ

☎044-381-3377（みんなの健康塾ちゃんねる事務局）

